

# 文化経済学

第17巻第1号（通算第48号）

2020年3月

## 特集 あいちトリエンナーレが提起したもの

検証：あいちトリエンナーレ

私たちはそこから何を学ぶことができるのか？

太下 義之 (1)

誰のためのアートなのか？

山出 淳也 (23)

## 研究ノート

地方公立美術館における新しい社会的役割を開発する改革の試み

—岐阜県美術館の事例を中心に—

鳥羽 都子 (26)

「クリエイティブ・エイジング」に向けた芸術文化活動の意義

—ハンナ・アーレントの「パブリックな領域における活動」論を手がかりとして—

本田 洋一 (35)

## 書評

秋野有紀著

『文化国家と「文化的生存配慮」

—ドイツにおける文化政策の理論的基盤とミュージアムの役割』

美学出版、2019年

伊藤 裕夫 (46)

吉田隆之著

『芸術祭と地域づくり—“祭り”の受容から自発・協働による固有資源化へ』

水曜社、2019年

野田 邦弘 (51)

## 国際・地域レポート

博物館の定義の変更が議論された ICOM 京都大会

—問われる博物館の社会的役割—

後藤 和子 (55)